

平成 20 年度事業報告書

社団法人 日本消防放水器具工業会

第1 総 則

1 会員の動向

区分	年度当初の会員数	退 会	入 会	平成 21 年 3 月末現在数
正 会 員	1 7	1 ※	0	1 6
準 会 員	2	0	0	2
贊 助 会 員	1 9	0	0	1 9
計	3 8	0	0	3 7

※ 第一城南株式会社

第2 総会及び理事会

1 定期総会

第 15 回定期総会が、平成 20 年 5 月 19 日、東京都港区「明治記念館」において開催され、次の議案が審議され可決、承認された。

第 1 号議案 平成 19 年度事業報告書（案）及び平成 19 年度収支決算書（案）承認に関する件

第 2 号議案 役員改選承認の件

第 3 号議案 平成 20 年度事業計画書（案）及び平成 20 年度収支予算書（案）承認に関する件

事務局報告事項

1 社団法人日本消防放水器具工業会会員状況について

2 臨時総会

第 15 回臨時総会が、平成 20 年 9 月 5 日、長野県茅野市「蓼科グランドホテル滝の湯」において開催され、次の議案が審議され可決、承認された。

第 1 号議案 理事選任の件

第 2 号議案 平成 20 年度(上半期)総会・理事会及び委員会等の活動状況報告の件

第 3 号議案 採水口認定規程等改正の件

委員会報告

消火栓機能向上研究委員会

1 平成 20 年度の研究概要

2 東京国際消防防災展 2008 出展報告

3 理事会

- (1) 第1回理事会が、平成20年4月8日、東京都千代田区「ニュー・トーキョー 会議室」において開催され、次の事項が協議され、承認された。
- 協議事項1 平成19年度収支決算書（案）（平成19年4月1日から平成20年2月29日まで）の件
協議事項2 平成20年度収支予算の件
協議事項3 平成19年度事業報告（案）及び平成20年度事業計画（案）の件
協議事項4 次期役員改選の件
協議事項5 平成20年秋の褒章上申候補者選出の件
協議事項6 平成19年度社団法人日本消防放水器具工業会定例表彰候補者選考の件
協議事項7 臨時総会開催場所の件
その他（報告事項）
①平成19年度消防庁長官表彰について
②平成20年度消防防災用設備等研究助成金ヒアリング結果について
- (2) 第2回理事会が、平成20年5月12日、東京都千代田区「ニュー・トーキョー 会議室」において開催され、次の事項が協議され承認された。
- 協議事項1 平成19年度収支決算報告の件
協議事項2 平成20年度収支予算の件
協議事項3 平成19年度総会・理事会及び委員会活動状況報告書（3月分）の件
協議事項4 次期役員改選の件
協議事項5 採水口に係る認定規程等改正の件
協議事項6 臨時総会開催場所の件
- (3) 第3回理事会が、平成20年7月23日、東京都千代田区「ニュー・トーキョー 会議室」において開催され、次の事項が協議され承認された。
- 協議事項1 部会、委員会設置及び構成の件
協議事項2 平成20年度総会・理事会及び委員会活動状況報告書（案）の件
協議事項3 採水口自主認定細則等改正の件
協議事項4 平成21年春の褒章上申候補者選出の件
その他（報告事項）
① 東京国際消防防災展2008出展結果について
② 社会貢献委員会について
③ 次郎丸元消防研究所長叙勲受賞祝賀会について
④ 平成20.21年度全国消防機器協会行事予定について
- (4) 第4回理事会が、平成20年8月28日、東京都港区「明治記念館」において開催され、次の事項が協議され承認された。
- 協議事項1 平成20年度総会・理事会及び委員会活動状況報告書（案）の件
協議事項2 採水口自主認定細則等改正の件
協議事項3 新事務局長の理事選任の件
- (5) 第5回理事会が平成20年12月1日、京都府京都市「ホテルサンルート京都 会議室」において開催され、次の事項が協議され承認された。
- 協議事項1 平成21年度秋叙勲・褒章候補者推薦の件
協議事項2 平成20年度消防関係業界功労者表彰（消防庁長官表彰）候補者推薦の件
協議事項3 平成20年度上半期収支報告の件
協議事項4 消防用ホースに係る個別検定時の不正行為の件
その他（報告事項）
① 消火栓機能向上研究委員会からの報告について
② 第5回検定等技術協議会（全体会議）の開催について

- ③ 平成21年度「新年名刺交換会」及び「新年互礼会」開催について
 - ④ 型式の電子申請について
 - ⑤ 平成20年度住宅用火災警報器・住宅用消火器社会貢献事業報告について
- (6) 第6回理事会が平成21年2月5日、東京都港区「ニュー・トーキョー 会議室」において開催され、次の事項が協議され承認された。
- 協議事項1 芦森工業株式会社の不正に係る問題点に関する件
 - 協議事項2 第一城南株式会社の破産に関する件
 - 協議事項3 平成21年度消防機器等関係者表彰の推薦の件
 - 協議事項4 平成20年度(社)日本消防放水器具工業会定例表彰候補者推薦の件
 - 協議事項5 平成20年度消防防災設備等研究助成に係る報告及び平成21年度消防防災設備等研究助成金申請の件
- その他(報告事項)
- ① 日本消防検定協会との消防機器業務懇談会の開催について
 - ② 消防庁の立ち入り調査結果の報告について
 - ③ 平成21年度高齢者叙勲候補者調査について
- (7) 第7回理事会が平成21年3月24日、東京都千代田区「ニュー・トーキョー 会議室」において開催され、次の事項が協議され承認された。
- 協議事項1 平成20年度収支計算書(案)の件
 - 協議事項2 平成21年度収支予算の件
 - 協議事項3 平成20年度(社)日本消防放水器具工業会定例表彰候補者選考の件
 - 協議事項4 役員補欠の件
- その他(報告事項)
- ① 鑑定品の使用促進について
 - ② 第一城南債権者集会の報告について
 - ③ 平成21年度消防防災設備等助成金申請に係る(財)日本消防設備安全センターからのヒヤリング状況報告及び助成額の決定について
 - ④ 平成21年度消防関係業界功労者表彰(消防庁長官表彰)について

第3 事業・業務概要

1 認定関連業務

- (1) 送水口の型式、個別等の認定申請書の授受、立会い検査、認定委員会開催、認定証票の交付等の業務を行った。
- (2) 採水口の型式、個別等の自主認定申請書の授受、立会い検査、認定委員会開催、適合証票の交付等の業務を行った。
- (3) 平成20年度型式、個別等の認定状況は、型式が2件(送水口が1型式、採水口が1型式)、型式変更が1件(送水口)、軽変更が7件(送水口)及び個別が送水口(13, 345個(前年度比19.0%減))、採水口(1, 667個(前年度比33.8%減))であった。

2 検定・鑑定等の関連業務

- (1) 遠隔地会員の総務大臣に対する消防用結合金具の型式・型式変更承認申請及び承認書の受領、送付等の業務を行うが、本業務については、平成20年度の申請手続きは2件であった。

- (2) 日本消防検定協会の委託業務として実施している易操作性1号消火栓及び2号消火栓等の個別鑑定依頼の授受18件(3社)と依頼書の送付、鑑定合格証(NSシール)の授受2,311枚(3社)、管理、報告等の業務を行った。
- (3) 検定等技術協議会(全体会議2回、放水器具部会1回)に出席し、検定業務規程の改正を中心に協議を行った。

3 管理関連業務

結合金具の吸管用標示ラベル「シルバー」35,000枚及び易操作性1号消火栓の表示シール「緑」63,630枚の申込み受付、発送等の業務を行った。

4 会員との意見交換、情報提供等

(1) 情報提供

消防庁が発行する「消防白書」、「消防の動き」、「通知」、「案内」及び日本消防検定協会が発行する「検定協会だより」、「検定時報」、「通知」、「案内」並びに(財)日本消防設備安全センターの発行する「月刊フェスク」、「通知」、「案内」等関係機関、関係団体、関係工業会の資料、情報等を会員に配布した。

(2) 功労者の表彰

- ① 平成20年度消防関係業界功労者表彰(消防庁長官表彰)は、藤井宣道氏((株)立壳堀製作所)及び渡部健治氏((株)横井製作所)の2氏が受賞した。
- ② 平成20年度消防機器等関係者表彰((社)全国消防機器協会会长表彰)は、右畠信治氏((株)立壳堀製作所)、高橋芳子氏((株)北浦製作所)、沼田均氏(東京サイレン(株))及び新名哲二((株)横井製作所)の4氏が受賞した。
- ③ 平成20年度(社)日本消防放水器具工業会会长表彰は、吉田滋成氏、瀬崎克己氏、阿部章氏(以上(株)立壳堀製作所)、横川学氏((株)建設工業社)、岩波孝一氏((株)山田製作所)、谷澤寿男氏(ヤマトプロテック(株))、中矢稔氏、南出秀子氏(以上(株)横井製作所)、柴田陽一郎氏(YONE(株))の9氏が受賞する予定である。

(4) 親睦、講演会等

定期総会、臨時総会等において会員相互に意見交換、情報の交換等を行い親睦を深めた。

第4 関係機関、関係団体との連絡、協調

1 消防庁及び東京消防庁との連絡、協調

- (1) 消防庁及び東京消防庁が主催する会議へ出席するとともに、通知、資料等は、その都度会員に通知し、趣旨の徹底を図った。
- (2) 消防庁の実施した春秋2回の全国火災予防運動では、その実施に先立ち予防運動の高揚を図った。

2 日本消防検定協会との連絡、協調

- (1) 日本消防検定協会が主催する消防機器業務懇談会(平成20年4月、ルポール麹町)に出席し、検定、鑑定等の諸問題について意見交換を行った。
- (2) 日本消防検定協会からの通知、連絡事項および資料等は、その都度関係会員に伝達し協調を図った。

3 財団法人日本消防設備安全センターとの連絡、協調

- (1) 消火栓等開閉弁の認定業務に対する連絡、情報交換及び消防製品PLセンター業務の推進に協力した。

- (2) 日本消防設備安全センターからの通知、連絡事項および資料等は、その都度関係会員に伝達し協調を図った。
- (3) 平成20年度消防防災用設備等研究基金、研究テーマ「小流量消火栓ノズルの開発研究」の申請が受理され、消火栓機能向上研究委員会において1年間の実験研究を行い、平成20年度の研究成果を平成21年3月に発表した。
- (4) 平成21年度の研究テーマ「小流量消火栓ノズルの開発研究（継続）」で、消防防災用設備等研究助成の申請を行い受理された。

4 社団法人 全国消防機器協会との連絡、協調

- (1) 社団法人全国消防機器協会の主催する定期総会、理事会及び事務局長会議等に出席して、会議運営に協力するとともに、協会が行う行事に出席し協調を図った。
- (2) 社団法人全国消防機器協会からの通知、連絡事項および資料等は、その都度関係会員に伝達し協調を図った。
- (3) 褒章、消防関係業界功労者表彰（消防庁長官表彰）、消防機器等関係者表彰（(社)全国消防機器協会会长表彰）の上申等に当たり綿密に連携し各々の表彰受章に寄与した。
- (4) 社団法人全国消防機器協会に設置されている社会貢献委員会の運営に協力した。

5 関係工業会との連絡、協調

社団法人全国消防機器協会主催の事務局長会議等において各工業会との情報交換を行った。また、消防用ホースの代替等について、ホース工業会会員の参加をもとめ意見交換（消火栓に係る諸問題検討会）を行うと共に、当問題に係る意見統一を図るためにホース工業会と合同委員会（消火栓・ホース合同委員会（仮称））を設け検討を行った。

第5 調査研究

消火栓機能向上研究委員会（委員会7回、実験3回開催）

- 1 (財)日本消防設備安全センターの平成20年度消防防災用設備等研究基金、研究テーマ「小流量消火栓ノズルの開発研究」の申請が受理され、消火栓機能向上研究委員会において1年間の実験研究を行った。
 - (1) 消火しにくい燃焼体を使用して消火実験を行った結果、アスピレートノズルの放水量を95L/minとしたにもかかわらず、従来の130L/min放水での消火時間と比較して、ほとんど差がないことが明らかとなった。
 - (2) 平成20年の研究成果を平成21年3月に(財)日本消防設備安全センターで発表を行った。
- 2 平成21年度消防防災設備等研究助成の研究テーマの検討を行い、「小流量消火栓ノズルの開発研究」を継続申請することとした。